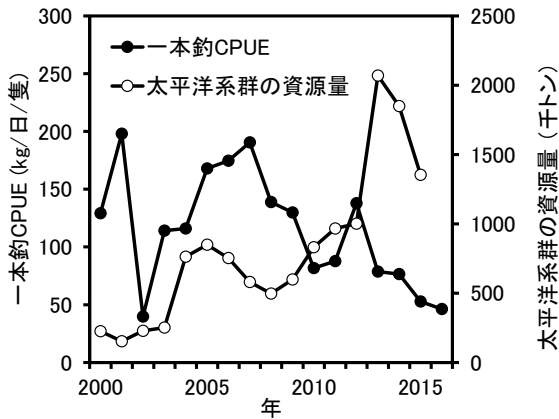


資源の動向 「低位・減少」



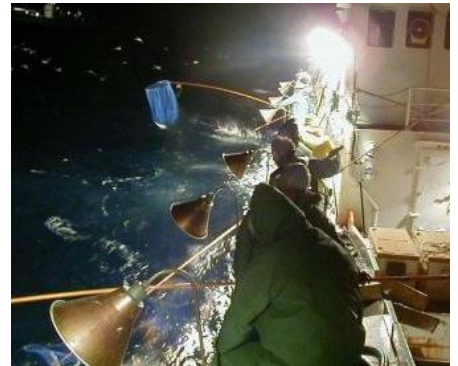
一本釣CPUE (kg/日/隻)と太平洋系群の資源量の推移

マサバ太平洋系群の資源量は卓越年級群の発生と漁獲圧の低下により増加し、平成28年度の国の資源評価では資源水準は「中位」、動向は「増加」と判断されている。

一方、本県沿岸における漁況は、海況の影響を強く受けている可能性が高く、太平洋系群の資源動向とは必ずしも一致しない。本県沿岸における資源量指標値(一本釣CPUE)は、2008年以降は減少傾向にあり、直近の2015年は2000年以降では2番目に低い水準となった。

対象漁業

- 定置網漁業
- 一本釣漁業
- たもすくい漁業



生物学的特性

- 分布: 日本列島近海
- 移動: 春に伊豆諸島海域で産卵し、夏～秋には三陸～道東沖へ移動する
神奈川県沿岸(相模湾、東京湾)で漁獲されるマサバは親魚が主体
- 成長: 尾叉長は2歳で30cm前後、5歳で39cm前後(寿命は7～8歳)
- 産卵期等: 1～6月(盛期は3～6月)

